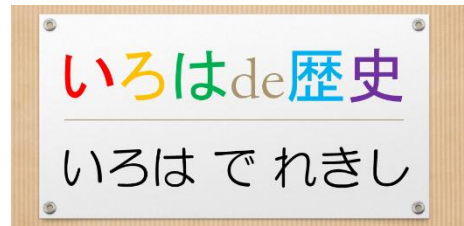


いろは48の歌^{うた おぼ}を覚えて、歴史^{れきし なが}の流れをつかもう！

(いろは・・・は、時代^{じだい}の古い順^{ふる じゅん}になっています)

いろはにほへと ちりぬるを
わかよたれそ つねならむ
うみのおくやま けふこえて
あさきゆめみし ゑひもせす



(赤)

いちまんねんまえ につぼんれっとうあらわれる
ろくろなくてもどきづくり じょうもんじんのへいわなしゃかい
はじまる はじまる よんだいぶんめい えじぶと めそぼたみあ いんだす こうが
にんげんはいかにいきるかぎろんする きげんぜんこの ぎりしあ ろーま
ほかのむらとのあらそいおこる いなさくでんぱのやよいじたい

(黄)

へいをしたがえひがしへにしへ やまとちょうてい こっかをきすく
とらいじん ちょうせんはんとうからやってきた かんじ じゅきょう とき ぶっきょうつたわる
ちえをしぼってきそがため しょうとくたいしりそうのせいじ
りつりょうこっかのしくみをつくる おうじとかまたりたいかのかいしん
ぬひとりょうみんくべつする こせきにもとづきはんでんしゅうじゅ

(緑)

るしゃなぶつ ほとけのちからでこっかをまもる しょうむてんのう てんびょうぶんか
をんなもじにてわかをよむ ふじわらせっかんけの こくふうぶんか
わたしのとちはじぶんでももる ぶしのとうりょう へいしとげんじ
かまくらきよてんにばくふをひらく ごおんとほうこう ほうけんせいど
よくぞもったもうこのしゅうらい しっけんときむね じゅうはっさい

(青)

たかうじよしさだ ほうじょうしをたおす ごだいごてんのう けんむのしんせい
れんが のうがく ちゃのゆにすいぼくが につぼんらしい ぶんかのめばえ
そうせん みんな おおいにでまわる さんだいよしみつ かんごうぼうえき
ついにはじまるせんごくじだい やまなとほそかわ おうにんのらん
ねがわくば きょうとにのぼっててんかをにぎる たけだ いまがわ うえすぎ もうり

(紫)

なんばんぶんかにかるちゃーしょくく てっぽう とけい きりすときょう
らくいちらくぎでちからをつける おだのぶながは てんかふぶ
むいちもんからてんかびと たいこうひでよし へいのうぶんり
うんめいわけたせきがはら しんばん ふだい とぎまのばくはんたいせい
みこんをのこして とよとみめつぼう いえやすのいじ おおさかのじん

(赤)

のうみんはいかさずころさずしぼりとり ごにんぐみでのれんたいせきにな
おおさかはくらすしきならぶてんかのだいどころ えどとのあいだにひがきかいせんたるかいせん
くにかえ げんぼう さんきんこうたい ぶけしよはっとでだいみょうとうせい
やそのだんけつばくふのきょうい さんだいいえみつ さこくをけつ
まつおばしょうかさいかくかはたまたちかまつもんざえもん かみがたちゅうしんげんろくぶんか

(黄)

けんりょくにぎったこくおうつひほう めいよかくめい けんりのしょうてん
ふらんすおうきゅうべるさいゆ ちんはこっかのぜったいおうせい
こめしょうぐん しっそけんやくでさいせいさいけん
じゅうはっせいきはじめのきょうほうのかいかく
えいこうのあめりかどくらつ ふらんすかくめい じゅうとびょうどう じんけんせんげん
てんめいききんでたぬましっきゃく ろうじゅうさだのぶ かんせいのかいかく

(緑)

あへん ちゃ めんぷでさんかくぼうえき さんぎょうかくめいいぎりす せかいをねらう
さこくにっぽんおわりをつげる いいたいろうのしゅうこうつうしょうじょうやく
きんだいこっかのとびらをひらく さかもとりょうまのさっちょうどうめい
ゆるしをこうたよしのぶ たいせいほうかん おうせいふっこ ぼしんせんそう
めいじいしんはふくきょうへい さっちょうどひのはんばつせいふ

(青)

みんけんうんどうでこっかいひらく ないかくそうせつ けんぼうせいてい
しんをやぶってろしあもやぶる じょうやくかいせい ちゅうごくしんりやく
ゑそらごと ぜんたいしゅぎがせかいをゆらす はんみんしゅしゅぎ ふあしずむのかけ
ひどいきょうこう ぐんぶがたいとう まんしゅうじへん こくれんだたい につちゅうせんそう
もうだめだ しびれをきらしてかいせんけつ いくしゅう げんばく ぽつだむせんげん

(紫)

せんごかいかく ぐんこくしゅぎをはいじよする じんけんそんちょう けんぼうかいせい
すうこうなりそうをかかげてさいしゅっぱつ こくさいれんごう へいわをめざす
んまんぞく いろはでれきし かんせいじゃ

いろは歌 (漢字表記)

いろ にお ち
色は匂へど 散ぬるを

わ よたれ つね
我が世誰ぞ 常ならむ

う い おくやま きょうこえて
有為の奥山 今日越えて

あさ ゆめみ え
浅き夢見じ 酔ひもせず

いろは歌 (意識) [仏教辞典HPより](#)

はな さ ほこ ち
花は咲き誇ってもいつかは散ってしまうのに

えいえん よ い つづ
永遠にこの世に生き続けられることができようか

くる なや じんせい きょうの こ
苦しみ悩みの人生を今日乗り越えて

はかな ゆめ さ さと せかい
儚い夢から覚めて悟りの世界にでました